

令和2年度の教育活動等に対する学校評価書

学校法人静岡聖母学園 磐田聖マリア幼稚園  
 園長 富田麻実  
 磐田聖マリア幼稚園 学校関係者評価委員会  
 委員長 内藤かず子

1 幼稚園の教育目標

・建学の精神

- キリスト教的(カトリック)精神に基づき、学校教育法により幼児の心身の健全な育成を計る。
- やがて神の愛を知り、人々と愛の生活ができるように幼児の心を育てる。

・教育目標 「愛の心でがんばる子」

・具体目標 神を敬い きれいな心 正しい考え じょうぶな体

2 本年度の重点課題(学校評価の具体的な目標や計画)

・カトリック(キリスト教)の精神を学ぶ

初任者 建学の精神を理解し、幼稚園で働くものとして子どもたちに愛の心を注ぐ日々となるよう努める。

中堅者 初任者に寄り添う(本園の考え方、園の実務について具体的に伝える。)

年長者 園の精神に沿って保育が行われているか確認し、問題点の指導に当る。一緒に考え修正していけるようにする。

・モンテッソーリ教育について (園生活1日がM教育に繋がりを持つ)

園内研修を充実させ、各自の課題に合わせて主体的に取り組む。

3 自己評価結果とそれに対する学校関係者評価

評価項目		自己評価(令和 3年 3月 8日)		学校関係者評価(令和 3年 3月 10日)	
		評価点	幼稚園の取組・反省と改善策	評価点	評価・意見
教育内容	1 理念・方針	A		A	
	2 園の課題	B		B	
	3 行事の精選	B		B	
	4 園児指導	A		A	
	5 免許・資格	C	モンテッソーリ教師資格取得を若い職員にすすめたい	B	資格の取得しやすい援助を考えていく。
	6 職員の課題	C	年齢差・経験差のある職員理解が難しく信頼関係が十分でない	B	歩み寄りそれぞれの良さが発揮できるようにまとまていく。
	7 研修の企画	C	計画に沿った研修が行事や保育活動の変更で見合わせになった	B	コロナ禍での状況で出来る範囲での進め方でよかった。
	8 環境設定	B		A	
子育て支援	9 未就園児	C	コロナ禍で園庭開放や相談会が行われていない状況であった	B	難しい状況で出来る範囲での実施でおこなっていた。
	10 在園児	A		A	
	11 児相等の連携	A		A	
	12 預かり保育内容	A		A	
	13 預かり保育体制	B		B	
安全管理	14 施設と設備	A		A	
	15 防犯体制	A		A	
	16 安全衛生管理	A		A	
	17 アレルギー対応	A		A	
	18 防災対策	B		B	

評価項目			自己評価(令和 3年 3月 8日)		学校関係者評価(令和 3年 3月 10日)	
			評価点	幼稚園の取組・反省と改善策	評価点	評価・意見
人事管理	19	労働条件明示	B		B	
	20	時間外勤務	A		A	
	21	就業規則	B		B	
	22	労働者名簿	A		A	
	23	自己評価	B		B	
財務管理	24	予算作成	B		B	
	25	決算の分析	B		B	
	26	情報開示	A		A	
	27	個人情報保護	A		A	
	28	経理規程	A		A	

※自己評価、学校関係者評価とも1～28の各評価で特筆すべき点がある場合、またはC、Dの評価点の場合はコメントを記入のこと。

#### 評価結果の表示方法

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取り組まれているが、成果が十分でない
D	取り組みが不十分である

#### 4 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取組方法
・カトリック精神について学ぶ	・司教様、神父様の講話を聞き心にとめる。チャペレンである神父様の指導を通して、教会の活動や精神性に触れ愛である神様を感じる。毎日の祈りを大切に、言葉を心に止め思いを深めたい。
・モンテッソーリ教育について 基礎理論を学ぶ・提示の意味を理解する	・有資格者を中心に理論を交えての提示研修を進めていく。また、保育で必要となる知識、技術を学ぶための外部研修への参加を進めていく。講師を招いての研修も計画していきたい。(コロナの状況を見て)
・職員の連携と協力体制	・職員の評価の中で自身の研修としてオンライン研修等に参加して自己研修を充実させている職員も見られたが、個人差が大きく、職員間での情報交換や共有が進むような園内研修を進めたい。

#### 5 自己評価、学校関係者評価の公表

●公表期間 令和 3年 3月 15日 ～ 令和 3年 4月 12日

●公表方法 学内掲示板による

記入日 令和 3年 3月 10日

記入者 園長 富田麻実 印

